

Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り



第 24 号 (2020 年 11 月 13 日発行)

穏やかな陽気が続き、久しぶりにオリエンテーリングを楽しまれた方も多かったのではないのでしょうか。これからは一転、冬へ向かうとともに新型コロナウイルスの影響を避けることが難しくなっています。無理をせず体調を整えながらお過ごしください。

●本号の内容

- ・倫理規定の改訂に向けて
- ・ナビゲーションゲームズ 2021 参加イベント募集
- ・九州地区における会員支援活動報告
- ・リモート環境を活用した取り組み
- ・日本ランキングの開始について
- ・寄付金募集について
- ・今後の公認大会・講習会のお知らせ
- ・第 25 回理事会議事録

●倫理規定の改訂に向けて (副会長：愛場)

今般 JOA では、平成 25 年から制定、施行されていた「倫理規定」を大幅に改定する予定を致しております。すでにご存じのとおり、近年スポーツ界ではさまざまな不祥事が相次いでおり、その対策の一つとして、スポーツ庁は中央競技団体のためのガバナンスコードを平成 31 年に制定しました。日本スポーツ協会に属する JOA もこれに基づく体制を整備する必要があります。

スポーツ庁のガバナンスコードの求めている中心的な課題は、競技団体および選手のコンプライアンス遵守であり、人事、経営、選手選考、アンチドーピング、倫理、賞罰、などに関して、多くの規程の整備が求められています。倫理規定の制定は、不祥事を予防し、また不祥事が起こった時の被害者を公正に救済することができるようにするのが目的です。

今回の改定では、具体的には、対象者を明確に規定する、違反行為を定義する、通報相談窓口を設ける、危機管理・コンプライアンス委員会および倫理委員会について整理する、処分の方法と内容を明確にする、などの事項を中心に、大幅な改定を予定しています。

この規程の対象者は、JOA の役員、委員、職員、会員代表者、指導者、そして競技者となります。そこで、令和 3 年度の競技者登録の開始に合わせて、令和 3 年 2 月 1 日より施行することとし、対象とする競技者は令和 3 年度からの競技者登録者とする予定です。競技者以外の対象者については、その更新の時期がまちまちなりますので、令和 3 年 2 月 1 日時点で任命、認定されている者を一括して対象としたいと思っておりますので、ご承知おきください。

この倫理規程は、実際には出番のないことが理想です。オリエンテーリング愛好家は、マナーやコンプライアンス遵守の意識は高い方が多いと思いますが、それでも不祥事が起こらないという保証はありません。SNS や電子メールなどでは、安易に誹謗中傷に相当するような言動が行われることもあります。オリエンテーリング愛好家の皆さんにあっては、相互に信頼し敬意をはらうというスポーツマンシップに則った態度を保っていただき、引き続きオリエンテーリングが楽しくできる環境を作っていただくとともに、ほかのスポーツ界の手本となるよう行動していただきたくお願いいたします。

●ナビゲーションゲームズ 2021 参加イベント募集 (業務執行理事：木村)

ナビゲーションゲームズ 2021 への参加イベントを募集しています。これは日本各地で開催される 20 程度のロゲイニング大会をシリーズ戦として統一的に広報するものです。これによって、ナビゲーションスポーツの普及を図り、アウトドア界や社会全般の安全・健康づくりに貢献することを狙い

とします。

シリーズ戦として指定されるためには要件を全て満たすことが必要となります。下記の要項に従い応募された中から検討の上、大会を決定します。

<http://www.orienteering.or.jp/event/2021/navigames/event.pdf>

●九州地区における会員支援活動報告（地域活性化委員会：新帯）

地域活性化委員会では、会員支援や地域活性化をねらいに活動しております。会員支援においては、多くのオリエンティアの皆さまからの支援でご協力をいただき、大変感謝申し上げます。

これに加え、地域活性化には、マンパワーやノウハウ、広報活動の支援など、地域の事情に応じて寄り添った支援が不可欠です。今年度はモデル事業として九州地区で様々なトライに着手しております。

まずは、九州にゆかりのあるオリエンティアの皆様にお声掛けし、情報共有するためのメーリングリストと情報を広報するための Web サイトを立ち上げました。メーリングリストには現在、九州在住あるいはゆかりのある方 15 名に入らせていただいています。引き続きお待ちしておりますので、九州ゆかりの方に関する情報がありましたらお寄せください。

Web サイトも一度ご覧いただければと思います。鹿児島県南さつま市で開催された全日本リレー大会に関する情報のほか、これまで九州で開催されてきた大会の情報、今後開催される大会情報に加え、九州で開催した関連イベントの様子などを掲載しております。今後も九州では全日本リレー大会の開催が予定されています。機会があればぜひ、九州の OL 大会にもご参加をお願いします。

九州応援サイトはこちら <http://kyushuol.com>

山西会長の旧知で全日本リレー大会の実行委員長をお願いした山方先生のお取り計らいで、地元ランナーの皆様や大分県の大学・高専関係の方など 16 名にお集りいただき、鹿屋体育大学で OL 体験会を実施させていただきました。（9 月 20 日）

鹿屋体育大学の広いキャンパスで、本格的な競技用 O-MAP を用意し、地図の整置方法やルートチョイスなど基本的なスキルを学んだ後、初心者向けのコースを体験していただきました。

全日本リレー（11 月 8 日）には、鹿屋体育大学での体験会に参加された地元ランナーより運営ボランティアに入らせていただきました。また N クラスに 2 名参加され無事完走されました。会場では、九州にゆかりのオリエンティアの皆様と大会に参加された地元ランナーで交友を深めました。

今後も、大学関係者や高校の登山部などを足掛かりに、オリエンテーリングを体験していただけるよう機会を作っていきたいと思っております。また活性化が必要なのは九州地区だけではなく、ぜひ近隣の地域での活性化にお力を貸していただければ大変ありがたく思います。

< 9 月 20 日、鹿屋体育大学 OL 体験会 >

< 11 月 8 日全日本リレー大会にて >



完走された地元ランナーの皆様

九州 ゆかりオリエンティアの交流会

●リモート環境を活用した取り組み（顧問：村越）

講演会・セミナーへの活用

緊急事態宣言が出ていたころ、オリエンテーリング活動をなんとか続けたい。活動したい人たちに機会を提供したいという思いを強く抱いていました。当時、大学その他の場でリモート会議やリモートでの学習機会の提供が増えていたので、リモートセミナーを漠然と考えていました。折しも、日本

学生オリエンテーリング連盟が3回のリレー講演会を企画していました。尻馬に乗って、リモートの機会を盛り上げよう。さっそく、学連の幹事長谷野君に連絡を取り、私自身が第4回に出演すること、そのままJOAがリレーしてリモートセミナーを実施することで方針を決定しました。

JOAの若手理事からも賛同の声があり、6月に行った3回の講習は、若手トップ選手である伊藤樹さん、稲毛日菜子さん、尾崎弘和さんが出演し、学連と合わせると7回で700人以上が聴きに来てくれました。

思い通り遊べない、移動できない。ネガティブな面ばかりに目が行きがちなコロナ禍ですが、リモート利用に人々の目が向いたのは、ポジティブな面と言えます。「狭い日本」と言いますが、距離はやはり足かせでした。その足かせから解放されることで、より多くの人に情報や学習機会を提供できます。そんな思いから、7～9月には3回のリモート講習会を実施し、それなりにニーズがあることも分かりました。

これまでの活動を踏まえて、11月から定期的にリモートでの講演会、セミナー配信を企画しています。多くの人に聴いていただく講演会（基本、無料配信）と、15～20人程度の人を対象に、双方向的な時間も設けながら深い学びの機会を提供するのがセミナー（基本、有料）です。

当面以下のようなスケジュールで配信予定です。なお、一部プログラムは、スポーツ庁による新型コロナウイルス対応の助成金給付を利用しています。

なお、リモート配信については、以下のページに詳細を掲載しています。

<http://www.orienteering.or.jp/joa-about/online/>

*11月19日（木）21:00～22:00 NaviTabiの利用セミナー

（講師：入江崇（予定））【無料セミナー。事前申込制】

NaviTabiはナビゲーションスポーツを手軽に楽しめるスマホアプリです。NaviTabiでは世界各地に約1000件のコースが公開されており、誰でも好きなときにコースを回れます。NaviTabiによって、密集を避けられるウィズコロナに適したアクティビティが可能です。本講習ではアプリの基本的な使い方やイベントを安全に実施する方法をお伝えします。

*11月25日（水）22:00～23:00 全日本ロングの振り返り（感想戦）

（講師：上位選手等）【無料講演会】直前にURL公表。

全日本ロングエリートクラス出場の上位選手をお招きして、どう戦ったかを振り返っていただくとともに、一般的なコース攻略法やレースへの準備についてもお話していただきます。

*12月10日（木）21:00～22:30「ルートプラン」

（講師：村越真）【定員20人、有料セミナー。一般2500円、大学生以下1000円、その他の競技者・指導者登録者1500円。】

「プラン立てて走ろうよ」とオリエンテーリングではよく言われます。しかし、その中身をご存じですか？初心者・初級者に分かりやすく伝えることはできますか？精緻なナビゲーションの最大のポイントであるルートプランを易しく解説します。6月にも学連の講演会で40分ほどのプログラムを行いました。それも踏まえながら、たっぷり練習問題を取り入れ、実践的なスキルを高めることを目指します。

*12月21日（月）22:00～23:00

1年後に迫った香港でのアジアジュニアユース選手権について、実行委員長マ氏にもリモートで参加いただき、香港でのオリエンテーリングの魅力などを交えながら紹介していただきます。

*1月以降

連続講演会「レジェンドと語る」（仮題）など、JOAならではのコンテンツを提供します。

事務局会議の開催

JOAでは長年利用した原宿の岸記念体育会館を離れ、明治神宮外苑にあるJAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE（ジャパン・スポーツ・オリンピック・スクエア）に昨年6月に移転しました。

高村卓事務局長以下、小野賢二、杉本光正、友田賢吾、上松典子、の4名が交代で週5日の事務局勤務を行っています。また、清水由布子、利光恵美、の2名が主として在宅での仕事を分担しています。

岸記念体育会館と違ってJSOSはセキュリティが厳しくなっていますが、事前に連絡をいただければ、お訪ねいただけます。お近くにおいでの際は、ぜひご訪問ください。

多くの事務局員が分担で勤務しているため、処務のスムーズな実行のために2ヶ月に一回のペースで大里真理子副会長、顧問の村越も交えて、事務局会議を行っています。現在は、通常の処務や秋の大会の準備に加えて、新型コロナウイルス対策の持続化給付金の申請、スポーツ活動継続サポート事業（スポーツ庁）の助成金申請に取り組んでいます。

●日本ランキングの開始について（理事：宮川）

11月21-22日の全日本大会より、日本ランキングの集計を開始します。

来年度以降の全日本大会のエリート権獲得に使用できるランキングとなる予定です。

http://www.orienteering.or.jp/elite_ranking/

「公認大会が少なく全日本大会のエリートクラスにチャレンジできない…」という意見が長年多くありました。日本ランキングでは公認大会以外でもランキングの対象となるレースを増やして集計します。

ランキングはNishiPROの西村徳真氏に全面的に協力いただき、IOFのWorld Rankingを参考にランキングアルゴリズムを作成いただきました。

みなさんのご意見をいただきながら、今後も随時改善を行っていく予定です。

ランキング対象のレースは日本オリエンテーリング協会全日本委員会から依頼をさせていただきますが、ぜひともランキング対象にしてほしい、という主催者様のご希望がありましたら、ご連絡ください。（※一定の条件あり）

jpranking.info@orienteering.or.jp

●寄付金募集について

JOAでは随時寄付金を募集しております。12月中に寄付をされると、令和2年度分の確定申告で寄付金控除が受けられますので、ご検討のほどよろしくお願ひします。

詳細はこちらからご確認ください。<http://www.orienteering.or.jp/joa-about/kifu/>

●今後の公認大会・講習会のお知らせ（状況により変更の可能性あります。）

2020年

11月14-15日	WMG/WMOC2021 関西プレイベント3日間大会	[公認A/S]	(兵庫県)
11月21-22日	全日本オリエンテーリング大会(ミドル・ロング)		(長野県)
11月28-29日	第2回イベントアドバイザー講習会		(埼玉県)
12月12-13日	インストラクタ養成講習会		(徳島県)

2021年

2月21日	大阪OLC45周年記念大会	[公認B]	(大阪府)
3月7日	上尾大会 in 熊谷さくら	[公認S]	(埼玉県)
5月16日	富士山麓大会	[公認A]	(静岡県)

●第25回理事会の議事録（事務局）

1. 開催日 2020年9月6日(日) 13:00~17:00

2. 開催地/方法 WEB会議(Zoomを用いた会議)

3. 理事 19名中15名が出席し、定足数を満たした。(出席者全員WEB参加)

(出席) 藤井範久 伊藤好信 木村佳司 平島俊次 前田(大里)真理子 楠見耕介

愛場庸雅 瀬川出 茅野耕治 小林力 宮川早穂 新帯亮 島津弘 山西哲郎 奥田健史

(欠席) 高橋利之 羽鳥和重 信原靖 谷野文史

監事 尾上秀雄 齋藤和助(欠席)

記録 高村 卓

4. 議長 定款第32条により、愛場副会長を指名した。

審議事項案

第1号議案 倫理規程改訂案(木村理事)

第2号議案 公認大会制度のWG設置について(平島理事)

第3号議案 競技委員会委員の追加について(平島理事)

(取下)第4号議案 定期理事会開催頻度を年4回にすることを提案(平島理事)

定款に2から4回とあり、審議事項ではなく、開催についての合意事項とした。

Zoom等のオンラインによる理事会の決議について、法的問題がないか確認することとした。

記録等をできる限りとるようにと希望が出された。

第5号議案 日本オリエンテーリング選手権実施基準改正(平島理事)

第6号議案 全日本大会委員会委員の追加、日本ランキング実施について(宮川理事)

(取下)第7号議案 全日本スプリント大会について(瀬川理事)

審議事項ではなく報告事項のため、取り下げとなった。

審議 会長挨拶後、以下の審議に入った。

第1号議案 倫理規程改訂案

木村理事から、倫理規程改訂案を提案した。第4条に第4項を加える。

4. 役・職員、または役・職員が役員を務める団体がこの法人と取引する場合は、その内容について

理事会の承認を必要とする。

以下、項目番号を順次繰り下げ、改訂する。

以上、審議の結果、出席理事15名が賛成し承認した。

付帯決議 利益相反に関して、全日本大会委員に以下の4社の代表が入るため、倫理規程に基づき、取引を行う事に関しての承認を行い、議事録に記載することを提案した。

取引承認：地図調査等で、200万円程度の発注が行われる可能性があることに対する承認。

対象者：ヤマカワオーエンタープライズ、NishiPRO、宮西山野精図、坂野山遊地図企画

以上、審議の結果、出席理事15名が賛成し承認した。

第2号議案 公認大会制度のWG設置について

平島理事から、昨年9月の公認大会のあり方検討WGの結論を受けて、これからの公認大会、競技者

登録、会員支援金等をどのようにしていくかを検討、見直しをするため、WGの設置の提案をした。

メンバー 平島俊次、木村佳司、宮川早穂、瀬川 出、楠見耕介、小林 力、広江淳良、

稲葉英雄、の8名。

予定 2020年12月 中間報告

2021年02月 規則改正を含め最終提案

2021年04月 新制度実施

(WGにおける検討事項の概要)

・公認大会のありかたWGの報告後、公認大会改革の方向性が発表された。ランキング大会について

は全日本委員会で検討されているが、公認大会も同時に改革を行う必要がある。

・より質の高い公認大会の開催を目指す

・公認大会の位置付けを明確にする

・改革にあたって制度そのもの見直しや競技者登録、会員支援金見直しなどを行うことになる。

・全日本大会は全日本委員会が所管、公認大会は競技委員会が所管、ランキング大会は全日本委員

会

が所管。

・今まで競技委員会が行っていた規則類の内、全日本大会やランキング大会に関する規則類の制定

改

廃は、全日本委員会が行う。

・全日本大会のエリート権を取得するための対象大会として、公認A、Bのほかに、各地で開催され

れ

る大会をランキング大会としてJ O Aから依頼して対象とすることで、全日本大会エリート権を取

得

する道筋を広げる。これは全日本委員会で検討中である。

(意見)

・「公認大会は全ての人に開かれた大会」という理念のもとでは、若年層が安心して参加するための安全策や、参加人数に上限を設けることは是か非かといった議論も必要である。

・競技者登録、会員支援金については特に意見が出なかった。

以上、審議の結果、出席理事15名が賛成し承認した。

第3号議案 競技委員会委員の追加について

平島理事から、競技委員会委員として推薦を提案した。

委員 楠 健志(くすのき けんじ) 現在、筑波大学大学院在学。

以上、審議の結果、出席理事15名が賛成し承認した。

第5号議案 日本オリエンテーリング選手権実施基準改正

平島理事から、理事メールを利用して、理事に配布、意見を求めたが特に異論がなく、仮承認として

8月9日付けでWEBに公開した。あらためて理事会で承認を受けたいと提案した。

・全日本リレー大会の得点方法の改訂。

・地図図式の改訂、国際方式にあわせる。

以上、審議の結果、出席理事15名が賛成し承認した。

第6号議案 全日本委員会

第1項 木村理事から、全日本委員会の委員として推薦を提案した。

委員 稲葉英雄(いなば ひでお) 現在、強化委員会委員長として活動中

以上、審議の結果、出席理事15名が賛成し承認した。

第2項 木村理事から、日本ランキング実施について提案した。

予定 2020年09月 理事会に提案

2020年10月 日本ランキング実施

2020年12月 全日本E権規程の変更

付帯決議 日本ランキングの外注先としてNishiPROに委託する。

ランキング実施についての説明として

・ランキング発表は、J O Aの頁で行うようにしたい

・ランキングは、速報値で行うが、公式結果に基づいて修正する。

・全日本大会出場規則の変更を仮承認で進めたい。

・日本オリエンテーリング選手権実施基準も関係してくる。

・規則の管理者を全日本委員会としたい。

・年齢別ランキングとは別になる。

以上、審議の結果、出席理事15名が賛成し承認した。

以上

報告事項

1. 全日本スプリント大会について、瀬川理事から報告した。
 - ・全日本スプリント大会2020は、東京都練馬区光が丘での開催を見送りとした。
 - ・2020年度大会を、別テレインでの開催を模索中。
 - ・光が丘地区は、2021年度の開催を目指す。
 - ・試走情報の漏洩について報告があった。(他の大会でもGPSウォッチ、スマホは要注意)理事から情報提供の日程を示してほしい。選手への告知が必要との意見があった。
2. 全日本大会の今後のビジョンについて、宮川理事から報告した。
 - ・2021年度大会を千葉県に打診中。
 - ・2022年度大会を静岡県に打診中。
 - ・以後について、協力いただける会員を募集している。
3. 危機管理・コンプライアンス委員会について、伊藤理事から報告した。
 - ・役員がSNS上で誹謗中傷発言を行うなどの不適切な行為を行ったという告発があった件について、8月中に2度の委員会を開催し、JOAとしての処分を決定した。
 - ・倫理規定改定案の検討を行った。
4. 競技者登録番号の一元化について、事務局から報告した。
 - ・理事メール、会員メール等に意見募集を行っている。
5. 競技規則改訂の進捗状況について、平島理事から報告した。
 - ・予定通り進めている。2021年2月の理事会で承認を得、同年4月施行予定。
6. ガバナンスコード対応について、愛場理事から報告した。
 - ・倫理規程を2021年に改訂する。2020年12月予定の理事会にて承認を得、2021年2月施行の予定。

対象者、違反行為の定義、通報窓口、倫理委員会の設置、処分規程等を明確にすることにより、ガバナンスコードに対応する。
7. 日本スポーツ協会のコーチ制度について、木村理事から報告した。
 - ・2019年日本スポーツ協会の方針が変わった。
 - ・JOAから、日本スポーツ協会へカリキュラム案申請中。
 - ・2020年9月日本スポーツ協会にて、確認・回答がでる予定。
 - ・上記の回答を受けて、JOA最終案を作成する予定。
8. ワールドマスターズ関西進捗状況について、平島理事から報告した。
 - ・10月4日、10日、11日にプレ大会を開催予定。
 - ・10月28日のWMG組織委員会にて、実施か延期かなどのコロナ対応が決まる見込み。
 - ・11月にIOFシニアイベントアドバイザが来日予定。(コロナの影響で未定)
 - ・収支予算が厳しい、プレ大会からの資材共有も活用する。
 - ・スタッフが不足している。
 - ・併設大会(WMG/WMOC参加者の家族や国内の35歳以下参加者向け)がまだ決まっていない。

(注：関西で2021年に行われる予定のワールドマスターズゲームは、2022年への延期が正式に決定した。これに伴いオリエンテーリングも2022年に延期となるが、その際オリエンテーリングのマスターズ世界選手権を兼ねることになるかどうかについては、IOFと折衝中である。)

9. 次回理事会の予定について

2020年12月を予定。事務局にて調整を行う。

以上